



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立松原中学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1年 生徒 82人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (      ○      )</p> <p>② 行事名 (                      )</p> <p>③ その他 (                      )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 (                      )</p> <p>② その他 (                      )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>車いすバスケットに挑戦！</p> <p>*アスリートと共にスポーツを体験しながら学ぶ機会をつくる。</p> <p>*「車椅子バスケット体験」を通して、共生社会の実現を目指すとともに、オリンピックへの興味関心を高める。</p>
5 取組内容	<p>*各団体と交渉（代表・坂野晴男さん）</p> <p>*授業内容の確認と講師との共有</p> <p>*事業の実施「車いすバスケットに挑戦！」</p> <p>*総括</p> <p>講演な内容を通して、アスリートと努力や偉大さに気づけた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>また、「車椅子バスケット体験」を通して、共生社会の実現を考えていくとともに、オリンピックへの興味関心を高めることができました。</p>
6 主な成果	講演な内容を通して、アスリートと努力や偉大さに気づけた。

	「車椅子バスケット体験」を通して、共生社会の実現を考えていくとともに、オリンピックへの興味関心を高めることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	*コロナ禍でもあり、感染予防・感染拡大防止を第1に取り組んだ。そのため、活動の時間を効率的におこなった。
8主な課題等	*コロナ禍での実施が今後も考えられるが、工夫しながら効果的な取組になるようにしていきたい。
9来年度以降の実施予定	*来年度も1年生を対象として実施したいと考えている。